

Q1 【はじめに】

兵庫県は五つの地方に分かれています（「ひょうご五国」）。

①～④の国の名前を、右のア～エから選びましょう。

①伊^{たじま}但馬

②エ^{たんば}丹波

③ウ^{せつづ}摂津
(神戸・阪神)

④ア^{あわじ}淡路

ア ^{あわじ}淡路
イ ^{たじま}但馬
ウ ^{せつづ}摂津
(神戸・阪神)
エ ^{たんば}丹波

Q2 【美術とくらしライブラリー (1階)】

兵庫県には、姫路城以外にも国宝があります。

下の写真の国宝に指定されている寺院の特徴を見つけ、下の写真と名前を線で結びましょう。

①



②



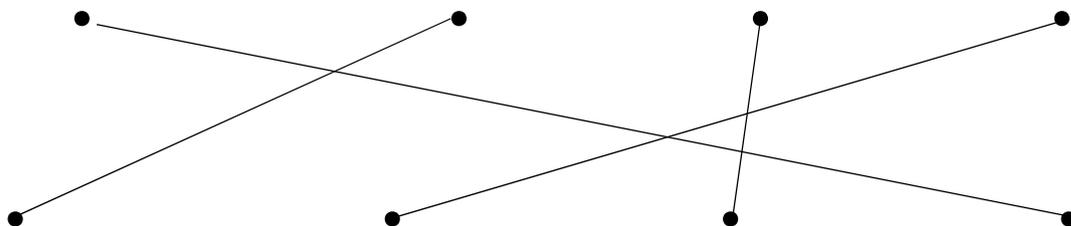
③



④



※矢印の方から中をのぞいて見てね！



ア 朝光寺 本堂
(加東市)
人々がお参りする場所
が広く明るく造られ
ています。

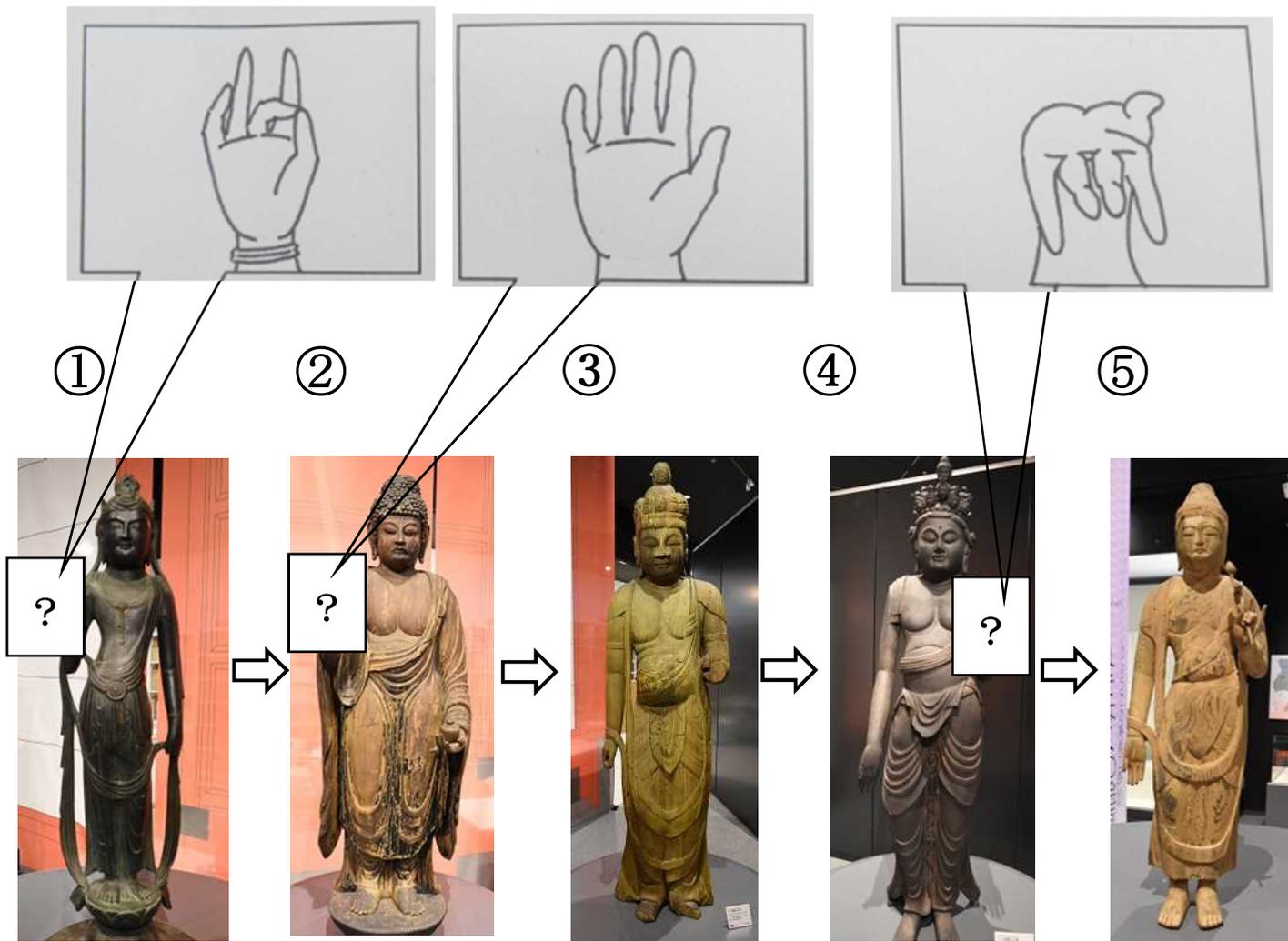
イ 鶴林寺 太子堂
(加古川市)
県内で一番古い木造
建築で屋根は檜皮葺
(ひわだぶき) です。

ウ 一乗寺 三重塔
(加西市)
全国で五番目に古い
三重塔です。

エ 浄土寺 浄土堂
(小野市)
少ない木材で内部が
広々しています。
東側からのぞくと仏像
に後光が差しているよ
うに見えます。

Q3 「BTZ5 (仏像ファイブ)」について。

仏像①、②、④の□の手の形をスケッチしてみましょう。



Q4 兵庫県は、有名な焼き物がたくさんあります。

この中で気に入った焼き物を選び、それを選んだ理由も書きましょう。



①気に入った焼き物

(解答省略)

やき
焼

②気に入った理由

(解答省略)

Q5 昔の道具について。

(1) それぞれの道具の名前を書いてみましょう。

①



ラジオ

②



テレビ

③



洗濯機

④



電話機

(2) 上の④について、今、自分たちが使っている道具と比べて、どこが違うか書きましょう。

(例)

- ・大きい
- ・木でできている
- ・ダイヤルやボタンがない
- ・(スマホや携帯電話のように) 持ち運びができない

Q6 【ひょうご五国のあゆみ（2階）】「播磨国風土記」について。

「姫路（ひめじ）」という地名は、「播磨国風土記」の中の 丘がもとになっている。



漢字で書きましょう。

日女道 丘

※姫路市内の学校の児童生徒は、「播磨国風土記」の中から自分の地元の地名を探してみましよう！
(例) 飾磨・英賀

Q7 「源平合戦図屏風」について。

(1) 屏風をよく見て、源氏と平氏を見分けてみましょう。



赤い旗 → 平 氏

白い旗 → 源 氏

(2) 山の上から源氏が馬に乗って攻め込む場面が描かれています。
《「坂(逆)落とし」》

この時、源氏の大將はどんなことを思っていたのでしょうか。
吹き出しに書いてみましょう。

(鹿が通れるなら馬も通れないはずがない。)まさかここから攻めてくるとは敵も思っていないだろう。
ここから奇襲をかけ、一気に攻めよう!

など



Q8 戦が少なくなった江戸時代になると甲かっちゅう冑（鎧）は、武家にとって身分や家格を表すものになりました。

下の甲冑は明石藩主・松平家に伝来したものです。
兜（かぶと）の飾りの部分について、展示品を見ながらスケッチしてみましょう。



Q9 兵庫県は、の生産が日本一です。（全国シェアの約90%）

下の機械を使って、生産していたものは何でしょう。



Q10 近世になると、いろいろな種類の船が運航するようになります。

下の写真の船の名前を書き、それぞれの特徴を見つけ、線で結びましょう。

※船の形や船底の深さに注目！

①



たかせぶね
高瀬船

②

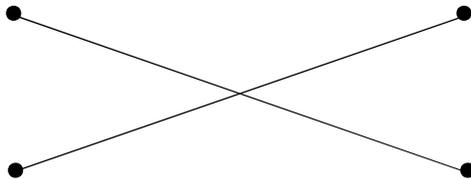


たるかいせん
樽廻船

③



きたまえぶね
北前船



ア 重い酒樽を積むため、船体が深く
なっている。

イ 日本各地の河川で
使用された川舟。

ウ 荷物を運送するの
ではなく、商品を売買しな
がら運行する買積み廻船。

Q11 【ひょうごの祭り（2階）】について。

下の写真は播磨地域の「だんじり」と「屋台」です。
どちらが「だんじり」で、どちらが「屋台」でしょうか。
名前を書きましょう。

①



※人がかつぐ。

屋台

②



※車輪付き。

だんじり

Q12 【日本の城大百科（2階）】 「現存12天守」について。
日本の城の天守のうち、江戸時代またはそれ以前に建てられ、現在まで残っている天守のことを「現存12天守」としています。

「現存12天守」のうち、
自分が気に入ったお城の名前を2つ書きましょう。
また、気に入った理由も書いてみましょう。



気に入ったお城の名前	気に入ったお城の特徴
(解答省略) 城	(解答省略)
(解答省略) 城	(解答省略)

Q13 **達人問題**

中世には山城が多かったですが、近世以降は平山城や平城が多くなります。
なぜ平山城や平城が多くなっていったのでしょうか。



【ヒント】

城の持つ機能が時代とともに変化してくるよ。

山城は、敵が攻め込みづらく、防御のための天然の要塞としての機能を持っていました。

近世以降になると、城は大名が領内を治めるための政治を行う場所（政庁）としての機能を果たし、また、家臣達を住まわせるための城下町を作るために、（山城ではなく）平山城や平城を建てるようになったので。